

令和2年(2020年)度 第1回 大阪府立西成高等学校 学校運営協議会 記録

【日 時】令和2年(2020年)7月18日(土)10:00~12:00

【場 所】大阪府立西成高等学校 多目的室A

【出席者】(会長)西田芳正委員・(副会長)高見一夫委員・赤坂寛臣委員・榎井縁委員・奥野喜久夫委員
田中俊英委員・寺嶋公典委員・堂上勝己委員

【内 容】

1. 校長挨拶
2. 委員紹介・事務局紹介ならびに会長・副会長選出
3. 議 事
 - (1) 今年度の重点取組み事項について
 - ① 家庭学習に代わる学びの場(エンパワ Lab)について
 - ② 多様なマイノリティの相互支援(マイノリティ教育 Lab)について
 - (2) 生徒の現状について
 - ① 新型コロナウイルス感染症に係る臨時休校によるロードマップの変更について
 - ② 各学年の様子(各学年主任)
 - ③ 「学校生活と人権アンケート」結果と取組みへの提言
 - (3) その他
4. 閉会の挨拶

【各委員からの主な意見等】

- エンパワ6年目の重点取組み事項について、エンパワ Labの「クールダウン部屋」が厄介な生徒を隔離するための部屋にならないように、教員の適切な指導のもと、運用方法に注意しながら活用してほしい。
⇒自分でもコントロールできないぐらいの姿を友達に見せてしまうことはあまりよくないことなので、一定必要かもしれないが、その子が受けるマイナス面のこともあるので十分配慮しながら進めていきたい。
- ロードマップについて、応募前職場見学で見た仕事内容と、実際についた仕事内容が違うということで戸惑っている生徒がいるので、できるだけ携わる可能性のある多くの過程を見学させてあげてほしい。同時に、一生同じ内容の仕事をするわけではないので、成長とともに仕事内容が変化することもイメージさせておきたい。
⇒企業側の都合もあると思うが、携わるであろう仕事は全部見せてほしいと要望していきたい。
- ロードマップは学校全体の流れがよく分かるひじょうによくできたものなので、現場できちんと共有し活用してほしい。とくに、新採用、新転任の先生や若い先生に活用してもらいたい。
⇒見たい時にすぐに見られるように模造紙サイズに拡大して職員室に掲示するなどの工夫を行っている。
- 西成学習について、11月では遅いのではと思う。西成に住んでいる生徒が傷つく前に、もう少し早めの時期にしてもらいたい。教員に対しても早い時期にしっかりと西成教育をしてほしい。
⇒教員については、西成高校ハンドブックとロードマップでこの時期に何をしているかがわかることになっている。今年度は、フィールドワークをしながら部落差別について重点的にやりたいと思っている。
- 防災について、木津川に近いということもあり、防災意識の向上と災害に対する十分な備えが必要である。
- 新型コロナウイルスによる休校中のオンライン授業に備えて、現在の授業を録画しておいてはどうか。
- 人権アンケートの結果より、一日一食しか食べていない生徒、一人で食事をする生徒、アルバイト代を家庭に入れる生徒の数から、家庭環境の課題が浮き彫りになっている。保護者へのアプローチ、取組みをシステム化してはどうか。教育と福祉の連携として、学校からSC、SSW、NPOなどにスムーズにつなげるようにし、保護者が困っている事を解消することで、家庭環境が整い、生徒が前向きに学校に来て学ぶことにつながるのではないかと。
⇒学年主任や他の先生、事務室など個別の相談は受けているが、トータルに漠然とした不安の主訴を受けられるかどうかは、相談機関ではないのでなかなか難しいところがある。
- 経済状況は今後1~2年、悪化すると考えられるので、就職内定率、定着率を維持することは困難で、今後さらに厳しくなると考えられる。100%内定をめざすなら相当な覚悟をした取組みが必要になってくる。

【今後の予定】

- 第2回:10月17日(土)10:00~12:00(場所:大阪府立西成高等学校 多目的室A)
- 第3回:1月23日(土)10:00~12:00(場所:大阪府立西成高等学校 多目的室A)